



パンフレットのツアーNo. をクリック (タップ) すると、
該当ツアーの**申し込み画面**に移動できます。

南海・鉄たびシリーズ

日帰りバスツアー

(第35回) 紀州路ローカル線 鉄道遺産めぐりの旅



和歌山電鐵(イメージ)

Designed by Eiji Mitooka+Don Design Associates



有田川鉄道公園(旧有田鉄道#158003他)



紀州鉄道(イメージ)

和歌山電鐵 伊太祈曽駅検修庫見学と乗車

旧野上電鉄 保存車両を見学

旧有田鉄道 鉄道交流館見学と体験乗車

紀州鉄道 全線乗車と旧日高川駅訪問

昼食付で、各地を効率的に訪問

お一人様も気軽に参加OK

<ツアーポイントのご紹介>

【A:和歌山電鐵】 和歌山電鐵は、2006年(平成18年)に南海電鐵貴志川線を引き継ぎ、現在、和歌山～貴志の間14.3kmで運行されています。今回は、登録有形文化財となっている伊太祈曽駅のプラットフォームや木造検修庫を見学し貴志まで乗車いたします。
*ご乗車いたく車両は、当日まで確定いたしません。

【B:野上電鉄】 野上電鉄は、海南市の日方と旧野上町の登山口との間11.4kmを結んでいましたが、1994年(平成6年)に全線廃止となりました。今回は、沿線(旧下佐々駅周辺)で保存されている車両(元阪神電鐵)を見学いたします。

【C:紀州鉄道】 紀州鉄道の前身は、1931年(昭和6年)に開業した御坊臨港鉄道であり、現在は、御坊～西御坊の間2.7kmで日本で2番目に短い私鉄線として運行されています。今回は、全区間に乗車し、さらに1989年(平成1年)に廃止となった旧日高川駅跡を訪問いたします。

【D:有田鉄道】 有田鉄道は、藤並と金屋口の間5.6kmを結んでいましたが、2002年(平成14年)に廃止となりました。有田鉄道を末永く後世に伝えることを目的のひとつとして、2010年(平成22年)に旧金屋口構内を整備して有田川鉄道公園として開園しました。今回は、併設の鉄道交流館を見学し、さらに公園内で運行する保存車両にも乗車いたします。

*[GoToトラベルが再開した場合は改定料金をお知らせ致します。]

■出発日 8月8日(日) ツアーNo.210818

■旅行代金 大人お一人様 **15,800円** (昼食付)

小学生お一人様 **15,500円** (昼食付)

■集合時間(場所) 午前7時30分 梅田 午前7時45分 難波

■行程 梅田=難波=(阪和道)=伊太祈曽駅(見学)+++ (和歌山電鐵)+++貴志駅=下佐々(保存車見学)=道成寺前(昼食)=御坊駅+++ (紀州鉄道)+++西御坊駅…日高川駅跡=有田川鉄道公園(鉄道交流館見学と保存車両体験乗車)=(阪和道)=難波(19:30頃着)=梅田(19:45頃着)



伊太祈曽駅 登録有形文化財プレート



日高川駅周辺の廃線跡

このコースは、催行確定後に
詳しい日程表をご送付致します。

■旅行代金に含まれるもの
貸切バス(梅田難波～梅田難波)和歌山電鐵(伊太祈曽～貴志)、紀州鉄道(御坊～西御坊)の運賃および有田川鉄道公園体験乗車料、鉄道交流館入場料、伊太祈曽検修庫見学科、昼食代、および諸費用、添乗員同行費用。

当ツアーは中学生以下のお子様だけの参加はご遠慮ください。行程中の和歌山電鐵および紀州鉄道は、定期運行列車への乗車となります。ご着席だけの場合もございますので、予めご了承ください。また、乗車車両は、有田川鉄道公園も含めて、当日まで確定いたしません。車庫見学は、営業運用中の現場であり、危険ですので係員の指示にしたがっていただきます。バスガイドは同行いたしません。バス座席につきましては、グループごとの配席とし、おひとり様参加を含めて、奇数参加の場合、隣席は空席といたします。お申し込み時に必ずバスの乗車地(難波/梅田)をお申し出ください。

■ご案内 ■添乗員:同行 ■最少催行人員:20名

お電話・FAX でのお申し込み・お問い合わせは



06-6644-7900



06-6644-6400

営業時間：平日 9:30～17:30 (土日祝・年末年始を除く)